

HP IceWall SSO

HP IceWall技術レポート: HP IceWall SSOを利用した Webシステム以外の認証特集(2)

MetaFrameを使用したWindows
ターミナルサービスへの適用



- » MetaFrame Web Interface
を使用したWindowsアプリケー
ションのWeb化
- » MetaFrameを使用した
Windowsアプリケーションへ
のシングルサインオン環境

近年、イントラネットへのシングルサインオン導入が増加するに従い、社内
で使用しているWindowsアプリケーションの統合についてご質問を頂く機
会も増えてまいりました。

そんな流れを受け、Webシステム以外の認証特集 第2弾は、Citrix
MetaFrameを使用したWindowsアプリケーションへのSSO適用事例につい
て特集します。

MetaFrame Web Interface(旧 NFuse)を使用したWindowsアプリケーションのWeb化

IceWallは、Webアプリケーションであれば(HTTP/HTTPSプロトコルで通信できれば)、SSO対象として接続する
ことができるという強みを持った製品です。従って、WindowsアプリケーションであってもWebアプリケーション化
されていれば、難なくIceWallのSSO対象として統合することができます。

・MetaFrame Web Interfaceソリューション

通常、Microsoft社が配布しているクライアントプログラムはWindows 95以降のOSとTCP/IPプロトコルにしか対
応していませんが、*Citrix MetaFrameとMetaFrame Web Interface(旧NFuse)を使用すると、MetaFrame上に
構築されたWindowsアプリケーションのWeb化が可能になり、WebブラウザからWindowsアプリケーションをフル
機能で利用することができるようになります。

今回はこの*Citrix MetaFrame Web Interfaceを使用し、IceWallのSSO対象として接続した例をご紹介します。
ります。

*Citrix MetaFrameとは(詳しくはこちらをご覧ください)

Citrix社が開発した、Windows 2000 Serverなどのサーバ系Windowsが備えるターミナルサービ
スを利用するためのクライアントプログラムです。

Microsoft社が配布しているクライアントプログラムはWindows 95以降のOSとTCP/IPプロトコ
ルにしか対応していませんでしたが、MetaFrameサーバ経由でWindows Serverのアプリケー
ションを呼び出すことによって、OSはWindows 3.1以降、MS-DOS、Mac OS、Java、
Solaris/SunOS、Linuxなどにも対応。MetaFrame Web Interfaceを使用することによってHTTP
プロトコルでの通信が可能になるなど非常に幅広い環境での使用が可能になります。

下図をご覧ください。

1. エンドユーザがMetaFrameに接続する際には、まずWeb Interfaceサーバへ httpアクセスを行い認証を
受けます。
2. 認証がOKの場合、ICA接続用の設定ファイルをダウンロードします。
3. エンドユーザはダウンロードしたICA設定ファイルを利用し、MetaFrameへICAプロトコルにより接続しま
す。

※ICAプロトコル(Independent Computer Architectureプロトコル)=MS Windows用の多目的プレゼン
テーション・サービス・プロトコル

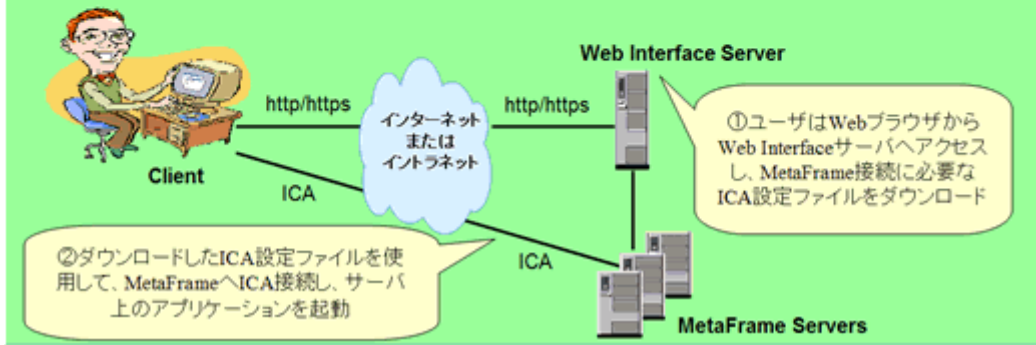
Web Interface (旧 NFuse)による MetaFrameアクセスのWebアプリケーション化



■ MetaFrame Web Interfaceソリューション

⇒ WebブラウザからMetaFrame上のWindowsアプリケーションのフル機能が利用可能に

- ユーザーはURLのリンクをクリックするだけでMetaFrame上のアプリケーションにアクセスでき、ユーザー側での接続設定は不要になる
- クライアント側の設定はすべて管理者側(サーバー側)で行える為、新規導入や各拠点での作業を一箇所で行える。ユーザーの誤った設定によるトラブルをなくす事ができる



MetaFrameを使用したWindowsアプリケーションへのシングルサインオン環境

上記の環境を導入すると、エンドユーザがMetaFrameにICAプロトコルでアクセスするには、必ずWeb Interfaceへhttp接続することが必要になります。

そのため、MetaFrameを使用したWindowsアプリケーションへのシングルサインオン環境を構築する際には、下図のようにIceWallサーバとWeb Interfaceサーバを接続します。

1. エンドユーザは、IceWallにより認証を行います。
2. MetaFrameに接続するには、まずWeb Interfaceサーバへ httpアクセスを行い、ICA接続用の設定ファイルをダウンロードします。既に、IceWallで一度認証が行われているため、Web Interfaceサーバにシングルサインオンでアクセスすることができるようになっています。
3. エンドユーザはダウンロードしたICA設定ファイルを利用し、MetaFrameへICAプロトコルにより直接接続します。

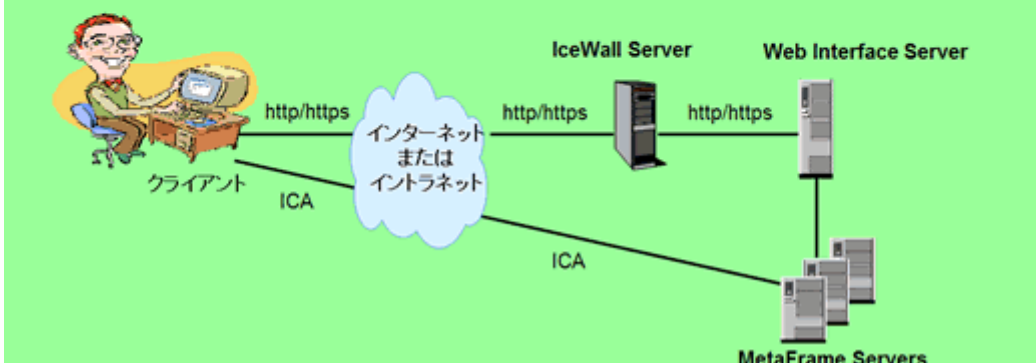
HP IceWall SSO とWindowsアプリケーションの統合環境



■ MetaFrame を利用したWindowsアプリケーションへのSSO環境の実現

Web Interface サーバをIceWallのバックエンドWebアプリケーションサーバとして導入

⇒ Web Interface導入により、http/httpsによる公開アプリケーションへのブラウザアクセスを実現



尚、MetaFrameのアプリによっては、Web Interface接続時にユーザID/パスワードの入力を行った後、再度ユーザID/パスワードの入力を求められるものがありますが、そうしたアプリケーションへの自動ログインの組み込みには配慮が必要です。

●関連技術レポート

- » HP IceWall SSOを利用した Webシステム以外の認証特集(1) - クラサバシステムへの適用
- » HP IceWall SSOを利用した Webシステム以外の認証特集(2) - MetaFrameを使用したWindowsターミナルサービスへの適用(本トピックス)
- » HP IceWall SSOを利用した Webシステム以外の認証特集(3) - Web化されていないNotesとIceWallの連携